

平成30年度第6回 感染症発生動向調査部会
議事要旨

1 日 時 平成30年9月19日(水) 14:00～

2 場 所 岐阜大学医学部本館 1階 入札室(岐阜市柳戸1-1)

3 出席者

委 員 : 馬場 尚志(岐阜大学医学部附属病院 生体支援センター 副センター長)
大西 秀典(岐阜大学医学部附属病院 新生児集中治療部 准教授)
澤田 明(岐阜大学医学部附属病院 眼科 講師)
加藤 達雄(国立病院機構長良医療センター 呼吸器内科統括診療部長)
石山 俊次(石山泌尿器科皮膚科)
オブザーバー: 川部 京子(岐阜市保健所地域保健課 感染症対策係長)
事 務 局 : 居波 由紀子(保健医療課 感染症対策係長)
上津 ひろな(保健医療課 主任技師)
田村 直彦(保健環境研究所 疫学情報部長)
酢谷 奈津(保健環境研究所 専門研究員)

4 議 題 (進行:澤田委員)

- (1) 2018年第31週～第35週、8月の感染症発生動向について
- (2) その他情報提供

5 議事要旨

【2018年第31週～第35週、8月の感染症発生動向について】

- ・事務局からの報告と委員のコメントについては資料のとおり。
(委員からのその他のコメント等)
- ・性感染症について、県医師会が実施している調査結果から、男性では風俗関係者からの感染が多く女性では配偶者からの感染が多いこと、男性は複数のパートナーを持つ者が女性に比べ多いことなどがわかり、風俗関係者から男性、男性から女性へと伝播していることが推察され、対策の参考となると思われる。

【その他情報提供】

○風しん・先天性風しん症候群の発生状況について

- ・事務局(保健環境研究所)から風しん・先天性風しん症候群の発生状況等について資料のとおり情報提供。
(委員からのコメント等)
- ・愛知県、広島県など、関東以外で今年患者が多い地域においては、患者の感染地域(関東との関連)

はわかっているか。関東からの流入に注意すべきなのか、すでに地域で流行しているのかは重要な情報である。

→（事務局）患者の感染地域は確認できていないため、今後確認したい。

○感染症関連通知等

・事務局（保健医療課）から下記通知等について情報提供

- ・インフルエンザに関する特定感染症予防指針の一部改正について
- ・平成 30 年度結核予防週間の主催について
- ・感染症法第 53 条の 2 に基づく定期の健康診断に係る受診案内について
- ・韓国における中東呼吸器症候群（MERS）患者の発生について
- ・平成 30 年度岐阜県定期接種基礎講習会について

（委員からのコメント等）

・インフルエンザ検体の指定提出機関制度の概要を説明してほしい。

→（事務局）平成 28 年の法改正でインフルエンザの検体を県に提出する医療機関を「指定提出機関」とすることが制度化された。県内では 10 定点を指定しており、流行期には各定点週に 1 検体提出することとされている。改正前から検体の提出はなされていたが、改正により条文に明記された。

○その他

・定点見直しの進捗状況について

（事務局）定点の見直しは今年度の課題であり、どのように手順を踏んで進めていくべきか検討中である。

（委員からのコメント）

・定点の見直しに際しては、定点を指定することの目的を県として明確に示すことが重要である。